

事業者向け放課後等デイサービス自己評価集計結果表

事業所名： ウイング稲城

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	合計	パーセント			職員の意見	職員の意見に対して施設長からの意見
						はい	どちらとも言えない	いいえ		
環境・体制整備	① 利用者定員が指導訓練室当スペースとの関係で適切であるか	12	3	1	16	75%	19%	6%	帰ってくる時間によっては、他で活動が始まってしまい、集中してワークをやる場所がない	施設内レイアウトの工夫と、パーティションなどの活用を実施する。
	② 職員の配置数は適切であるか	9	6	1	16	56%	38%	6%		
	③ 事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	13	3	0	16	81%	19%	0%		トイレ入口がバリアフリー化されていないが、現状のご利用者様には問題ない。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と割り振りに、広く職員が参画しているか	6	10	0	16	38%	63%	0%	非常勤の勤務時間が、子どもがウイングで活動している時のみになっているので、参画してもらうことが難しい。	定期的なミーティング開催、連絡帳活用等で共有する。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	9	0	16	44%	56%	0%		半期ごとに、保護者様にアンケート調査を実施し、ご質問、ご意見を頂き改善している。
	⑥ この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	3	10	3	16	19%	63%	19%		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	11	1	16	25%	69%	6%		
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質向上を図るために、研修の機会を確保しているか	9	7	0	16	56%	44%	0%	人材育成の研修に力を入れた方がいいと感じている。	本部研修参加促進と施設内研修の定例化を実施する。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	2	1	16	81%	13%	6%	アセスメントを行う時間が作れず、今までは行えなかった。	保護者様の理解とアプローチ強化を図る。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	3	1	16	75%	19%	6%		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	2	1	16	81%	13%	6%		
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10	4	2	16	63%	25%	13%	子供の過度な混乱を避けるため、ある程度は固定している。	ある程度の固定化をし、子ども達に見通しと自信を持って参加できるようにしている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援できているか	14	2	0	16	88%	13%	0%		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	5	0	16	69%	31%	0%	難しいであろう計画を作成することを考えてしまうこともある。	職員全員で対応出来る内容になっているが、今後は工夫していく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	1	0	16	94%	6%	0%		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	15	1	0	16	94%	6%	0%		
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	2	0	16	88%	13%	0%	毎日の振り返り、検証、改善につなげている。	継続して、「振り返り」を実施する。
関係機	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	7	1	16	50%	44%	6%	今まではモニタリングを行わず、計画を立てていた。	モニタリング実施の為のスケジュール化を図る。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	7	1	16	50%	44%	6%		
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	7	1	16	50%	44%	6%	相談支援を利用している方は、連携できている。	サービス担当者会議に参加する機会をつくる。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14	2	0	16	88%	13%	0%	学校より、下校時間のお手紙をもらっている	一部の学校の情報が不十分で、保護者様、学校への理解とアプローチをします。
㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	9	1	16	38%	56%	6%	ケアが必要な児童はいない。	今後の準備として、関係各機関との窓口全般を確認する。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	8	8	0	16	50%	50%	0%	時期になると、情報は頂ける。	更に、情報共有の為のアプローチをする。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	10	0	16	38%	63%	0%	学校卒業者はまだいない。今まで前例がないが、今後ある場合は情報提供したいと思う。	今後の準備として、関係各機関との窓口全般を確認する。	
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	10	0	16	38%	63%	0%			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	11	1	16	25%	69%	6%			
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	9	1	16	38%	56%	6%		開催時は積極的に参加する。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っているか	13	3	0	16	81%	19%	0%			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	11	0	16	31%	69%	0%	相談があった時には応じている	送迎の際なども、アドバイスしている。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	5	0	16	69%	31%	0%			
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	3	0	16	81%	19%	0%			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	12	0	16	25%	75%	0%			
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	16	88%	13%	0%			
	㉛	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	5	0	16	69%	31%	0%			
	㉜	個人情報に十分注意しているか	15	1	0	16	94%	6%	0%			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	1	0	16	94%	6%	0%			
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	6	1	16	56%	38%	6%			
	非 常 時 等 の 対 応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	3	1	16	75%	19%	6%		
		㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	4	1	16	69%	25%	6%		
㊲		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	3	2	16	69%	19%	13%			
㊳		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	6	0	16	63%	38%	0%			
㊴		食物アレルギーのある子どもについて、医師の支持書に基づく対応がなされているか	14	0	2	16	88%	0%	13%	親の指示に従っている	告知表、お皿に注意内容を明示、日々のおやつ選択に細心の注意を払う。	
㊵		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	1	0	16	94%	6%	0%			